

Sustainability Management

NTT西日本グループの サステナビリティ活動 の考え方

NTT西日本グループは、コーポレートスローガン「あしたへーwith you,with ICT.」を掲げ、ワクワクする未来をめざし、ステークホルダーの皆さまとともに挑戦を続けています。

今後、私たちを取り巻く環境の変化はさらに加速することが予想されます。大きく変化する時代の中でも、地域社会やお客さまとともに発展し、成長し続けるため、2021年、NTT西日本グループは、「西日本スピリッツ」を再定義し、新たな存在意義「パーパス」を定めました。私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、パーパスで描く「あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿」を追求しつづけます。

このパーパスに基づき、私たちNTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として社会の発展、SDGsの達成に貢献します。

具体的なサステナビリティ活動については、NTTグループが2021年11月に新たに制定した「NTTグループサステナビリティ憲章」に則り、グループ一体となって取り組んでいきます。

パーパス

「つなぐ」その先に「ひらく」 あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、
あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、
新たな価値の共創に挑戦します。

あしたへーwith you, with ICT.

NTT西日本グループは、未来へ向かってお客さま、パートナーのみなさまと一緒に、
あたらしい価値を生みだしていきます。
通信で培ったテクノロジーを礎に、人を、技術をアイデアをつなぎ未来のソリューションを創造していく。
私たちは、ICTでワクワクする未来を実現させます。

西日本スピリッツ

NTT西日本グループは、1999年の設立以来、「西日本スピリッツ」をもとに、事業活動を展開してきました。

2021年、経営環境や社員の価値観等の変化を踏まえ、新たな事業運営体制への移行を契機に、「西日本スピリッツ」を再定義しました。新たな「西日本スピリッツ」は、「パーパス」「行動指針」「行動規範」で構成されます。

パーパス

インターナル／エクスターナル双方の企業ブランディングに通底し、将来にわたって企業・組織と社員が共有する、普遍的な存在意義

行動指針

利他・共生 姿勢は一貫して、お客さまや社会とともに

- ✓お客さまや地域社会の声・思いを大切にし、ともに発展する
- ✓持続可能な社会をめざし、自然環境に優しい行動をとる

多彩・包容 多様性を認め、ひろく受け容れる

- ✓互いの個性や価値観を尊重し、それぞれの強みをかけ合わせる
- ✓ともに働く仲間や、支えてくれる家族の幸せを思う

研鑽・果敢 たゆまぬ自己成長と、勇気ある挑戦

- ✓つねに向上心をもって、自らのスキル・専門性を高め続ける
- ✓大胆に発・着想し、失敗を恐れず、迅速に実行へ移す

自立・誠実 社会の一員としての責任ある“個”

- ✓自信・誇りを胸に、目標に向かって、自らの意志で考え、行動する
- ✓高い倫理観を保ち、法令や各種ルール、社会規範を遵守する

行動規範

利他・共生 電気通信事業法・会社法・電波法等、私たちの事業活動の拠りどころである法令を遵守したうえで、

- ✓お客さまに虚偽のない提案を行い、適正な契約を結ぶとともに、お客さまの情報管理を徹底します
- ✓ビジネスパートナーと公正な取引を行い、対等かつ公平なパートナーシップを構築します
- ✓法令遵守、労働安全衛生、環境保全活動の推進、人権の尊重等の社会的責任を果たしている外注先・購入先を選定します
- ✓談合等の市場競争を阻害するような行為を行わず、公正かつ自由な競争を促進します

多彩・包容 風通しがよく、誰もが働きやすい環境をつくるために、

- ✓双方向コミュニケーションを大切にし、あらゆる差別、人権侵害、ハラスメントを行いません
- ✓適切な就業管理のもと、過重労働の発生を抑止するとともに、不払い残業を行いません

研鑽・果敢 新たなことへ積極的にチャレンジするにあたって、

- ✓いかなる場合であっても贈収賄行為には関与しません
- ✓法令や社内規則に反する接待・贈答は厳に慎みます
- ✓反社会的勢力との取引は一切行いません

自立・誠実

- ✓業務に関わるさまざまな情報やデータについて、正しく適切に取り扱います
- ✓自社の知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産権を尊重し侵害しません
- ✓サイバー攻撃への対策を含む情報セキュリティを徹底するとともに、プライバシー侵害、不正アクセス等を行いません
- ✓会社の負担で個人的利益を得る行為を行いません
- ✓絶対に、飲酒運転はしません、させません、許しません
- ✓もし不正があるときは、勇気をもって、声をあげます
会社は声をあげた方に不利益が及ばないよう、責任をもって、対処します

そして、私たち一人ひとりが、この「行動規範」を尊重して行動します

NTTグループサステナビリティ憲章

NTTグループは、これまでのCSR憲章を再構築し、新たに「NTTグループサステナビリティ憲章」を制定しました。本憲章に基づき、NTTグループは、高い倫理観と最先端の技術・イノベーションを可能とするIOWN構想の推進をはじめ、「企業としての成長」と「社会課題の解決」を図り持続可能な社会の実現をめざします。

具体的には、3つのテーマ「『自然（地球）』との共生」、「『文化（集団・社会～国）』の共栄」、「『Well-being（幸せ）』の最大化」を設定し、取組みを推進します。

NTT西日本グループも同様に、3つのテーマに沿って社会課題の解決に努めていきます。

NTTグループサステナビリティ憲章の3つのテーマと9つのチャレンジ

3つのテーマ		9つのチャレンジ
「自然(地球)」との共生	環境問題の解決と経済発展の両立に貢献します。	<ul style="list-style-type: none">・社会が脱炭素化している未来へ・資源が循環している未来へ・人と自然が寄り添う未来へ
「文化(集団・社会～国)」の共栄	民生的で多様な文化を認め合いながら発展する社会と価値創造に貢献します。	<ul style="list-style-type: none">・倫理規範の確立と共有・デジタルの力で新たな未来を・安心安全でレジリエントな社会へ
「Well-being(幸せ)」の最大化	人権尊重とDiversity & Inclusionの推進によりあらゆる人々の幸せの最大化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none">・人権尊重・Diversity & Inclusion・新しい働き方・職場づくり

[詳しくはこちら](#)

[NTTグループホームページ](#) ▶ [NTTグループサステナビリティ憲章](#) 

Sustainability Management 推進体制

NTT西日本グループは、これまで、代表取締役副社長を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、活動方針やKPI、施策の検討・決定を行うことで、CSR活動推進に向けたマネジメント体制を明確にしてきました。

2021年7月には事業運営体制を見直し、組織能力の抜本的改革“CX（コーポレートトランスフォーメーション）”の一環として、ESG経営を強化する観点から「ESG推進室」を設置し、ESG経営推進に係る機能を一元化しました。また、CSR・SDGs、ダイバーシティ&インクルージョン、環境経営等のESGに関わる基本方針策定、活動の推進、全社横断的課題等を検討する「ESG推進委員会」を設置しました。ESG推進委員会は、代表取締役副社長兼副社長執行役員が委員長を務め、各組織の代表として、本社各室部長・支店長、グループ会社社長が委員となり、オブザーバとして監査役が出席する構成となっており、各組織の代表が組織内における推進役を担っています。2022年度は8回開催し、活発な議論を行うことで、ESG経営を推進しています。

このような体制構築により、ESG経営・サステナビリティに関する取組みを一層強化することで、持続可能な社会の実現をめざしています。

「NTTグループサステナビリティ委員会」は委員長（NTT 代表取締役副社長）、当社を含む主要各社のサステナビリティ最高責任者（副社長、常務取締役）などの委員で構成されており、NTTグループ全体のサステナビリティ活動を推進するための体制となっています。さらに定期的に開催される「NTTグループサステナビリティ連絡会」には各社のサステナビリティ推進担当者が参加し、各社共通のサステナビリティ課題や各社の優良取組みを共有しています。加えてサステナビリティ重要課題の実施状況のPDCAを相互に確認し合うことで、NTTグループとして一体感のあるサステナビリティの取組みを推進しています。

NTT西日本グループ ESG推進委員会のおもなテーマ（2022年度）

- NTT西日本グループのESG経営推進に向けた取組み
- ESG重要指標の達成状況と見直し
- サステナビリティ推進関連の各取組みの進捗確認
- NTTグループ 環境エネルギービジョンおよびNTT西日本グループの取組み
- 温室効果ガスの削減に向けた取組み
- 社用車EV化に向けた取組み
- 女性活躍推進に関する取組み
- 男性社員の育児参画推進について
- 障がい者雇用のあるべき姿について
- 社員エンゲージメント向上に向けた取組み
- 社会貢献活動等の取組み

推進体制



サステナビリティ・SDGsの意識浸透

NTT西日本グループのサステナビリティ活動の推進やSDGs達成に向けた取組みの担い手は一人ひとりの社員です。実際にお客様や地域社会の皆様と接する社員が、現場で社会課題に対するアンテナを張り、それらの課題を自分ごととして捉えて、主体的に行動を起こすことができるよう、定期的に西日本スピリッツをはじめとする当社グループのサステナビリティに関する考え方やSDGsに関する意識浸透活動を行っています。

2022年度は、「スピリッツ・ウィークwithSDGs」として、全社員がパーパスを道標とした自身の仕事と、社会やSDGsとのつながりについて考え、今後の行動宣言をする期間を設けました。また、

「VI&KAIZEN推進フォーラム」として、KAIZEN優良施策の発表や水平展開に向けた議論等を行う全社的なイベント中で、「SDGs／D&Iプログラム」を設定し、有識者講演や優良事例発表会、ダイバーシティワーキングメンバー等による活動内容の発表を行い、「未来志向でのサステナビリティ経営の重要性」「ダイバーシティ&インクルージョンの重要性」について理解を深めました。

Sustainability Management

SDGsへの貢献 (事業とSDGsのつながり)

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連総会で採択された「2030年に向けて国際社会が持続可能な開発のために取り組むべき17の目標」です。NTTグループでは2016年9月にSDGsに対する賛同を表明しました。

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として、社会の発展、持続的成長（SDGsの達成）に貢献することをめざしています。

NTT西日本グループは、サステナビリティ活動を推進するため、NTTグループのサステナビリティ憲章の3つのテーマに取組みを分類し、重点活動項目を設定しています。これらの重点活動項目や自業務をSDGsと関連づけ、事業運営を図っています。

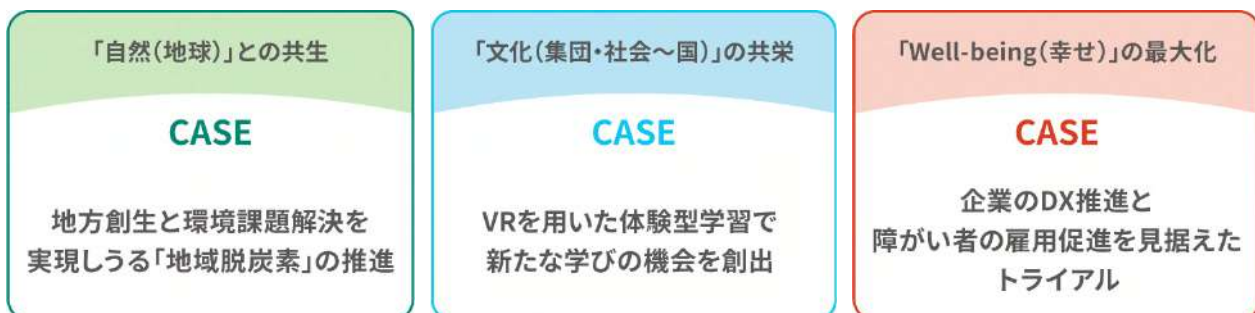
「NTT西日本グループの業務は、直接的もしくは間接的にSDGsに貢献している」ということを、社員一人ひとりが意識しながら、日々の業務に取り組むことで、NTT西日本グループはSDGs達成に貢献し、地域の方々から愛され、信頼される企業群に変革し続けます。

● SDGs達成へのアプローチ

NTT西日本では、地域に密着したソリューションの提供に取り組むべく、日頃より自治体をはじめとする地域社会の皆様との対話を大切にしています。対話では、地域独自の課題についてお声をいただくことが多く、その地域課題を起点に、当社グループがそれら課題解決に対して解決につながる新たなビジネスを創出する「アウトサイドイン」によるアプローチを行っています。



SDGsへの貢献に向けたおもな取り組み



Sustainability Management

NTT西日本グループの 重点活動項目

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として、社会の発展、持続的成長（SDGsの達成）に貢献することをめざしており、「NTTグループサステナビリティ憲章」の3つのテーマに取組みを分類し、NTT西日本グループとしての重点活動項目を設定しています。

NTT西日本グループは、優先的に取り組む重要課題を、以下のプロセスを経て特定しています。

重点活動項目の選定プロセス

STEP ① 社会的な課題を網羅的に把握

SDGs、第三者評価機関の評価基準、国際的なガイドライン(ISO26000・GRI Standards)、他企業のマテリアリティ等を参考に、社会課題を洗い出し、NTT西日本グループとして取り組むべき課題を議論・選択

STEP ② 優先度の評価

NTTグループの方針に則り、NTTグループとして設定する重要課題を重視するとともに、社会からの要請を踏まえ、NTT西日本グループの事業活動として優先度の高い重要な取組みを選定

STEP ③ 妥当性の評価

選定した重要項目をESG推進委員会で審議し決定

2022年度の重要活動項目は以下になります。

3つのテーマ	重点活動項目	関連するおもなSDGs
「自然（地球）」との共生	脱炭素社会の推進	 
	資源循環型社会の推進	
	生物多様性の保全	    
「文化（集団・社会～国）」の共栄	Smart10xの拡充・開拓	  
	光顧客基盤の推進	 
	通信サービスの安定性・信頼性確保	 
	セキュリティの強化	  
	法令遵守の徹底、高い倫理観に基づく企業活動	   
「Well-being(幸せ)」の最大化	人権意識に基づく企業活動	 
	ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	  

3つのテーマ	重点活動項目	関連するおもなSDGs
	デジタル人材育成	
	働きがいのある職場の実現	
	健康経営の推進	
	安全労働の推進	
	社会貢献活動の推進	

見直し

定期的に見直しを行い、社会環境の変化に対応した重点活動項目の設定に努めます。

進捗管理

特定した重点活動項目に対する取組みの進捗管理として、「見える化」指標を用いて、当社のサステナビリティ活動における取組みの達成レベルを推し量っています。



詳しくはこちら

サステナビリティ ▶ [NTT西日本グループ「見える化」指標](#)


Sustainability Management

NTT西日本グループ 「見える化」指標

NTT西日本グループは、2010年度からCSR活動における取組み達成レベルを推し量るための指標として「見える化」指標（KPI）を設定しています。特に事業と関係性の深い「見える化」指標に絞り込みを実施するとともに、各種目標とSDGsとの関連づけを行い、サステナブルな事業運営を推進しています。



重点活動項目：脱炭素社会の推進

見える化指標 温室効果ガスの排出削減



	目標	2022年度実績	関連するおもなSDGs
温室効果ガス排出量の削減率	カーボンニュートラル (2040年度)	自責※温室効果 ガス排出量 29.5万 [t-CO ₂ e]	

※自責：NTT西日本が自らの事業活動により排出した温室効果ガス

見える化指標 社用車のEV化率【EV100】


	目標	2022年度実績	関連するおもなSDGs
社用車EV化率	50%（2025年度） 100%（2030年度）	25.7%	 

見える化指標 サービス提供を通じた社会の環境負荷低減

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
NTTグループソリューション 環境ラベル取得数	1件	2件	1件	 

重点活動項目：資源循環型社会の推進

見える化指標 資源循環利用の推進

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
廃棄物のリサイクル率※ (撤去通信設備、建築工 事、オフィス)	99%以上	99.1%	98.9%以上	

見える化指標 環境貢献、業務効率化に向けた取組み

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
事務用紙の削減率	2022年度比 25%削減	2020年度比 28.2%削減	2020年度比 44%削減	

重点活動項目：生物多様性の保全

見える化指標 みどりいっぱいプロジェクトの推進

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
みどりいっぱいプロジェクト活動府県	30府県	30府県	30府県	    

重点活動項目：ビジネス営業の強化

見える化指標 ビジネス営業強化に向けた取組み

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
ICT活用により自治体・企業と連携した地域活性化等につながる活動件数（報道発表ベース）	—	21件	—	  

重点活動項目：Smart10xの拡充・開拓

見える化指標 Smart10xの拡充・開拓に向けた取組み



	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
Smart10x (B2B2X) 収益額	720億円	725億円	930億円	  
Smart10x サービスリリース数 (報道発表ベース)	目標設定なし	15件	目標設定なし	  

重点活動項目：光顧客基盤の推進

見える化指標 光顧客基盤の拡大

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
光サービス契約数	純増25万回線、 契約数1,035万回線	純増13.9万回線、 契約数1,025万回線	純増15万回線、 契約数1,040万回線	 



見える化指標 お客さまの声を踏まえたサービス改善

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
ウィズカスタマー活動における改善件数	対前年比増	24件 (前年度比-4件)	対前年比増	 

重点活動項目：通信サービスの安定性・信頼性確保

見える化指標 高品質で安定した通信サービスの確保

重大故障発生件数	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
	0件	1件	0件	 

安定サービス提供率 (2022年度まで目標設定)	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
	99.9%	99.9%	—	 



見える化指標 地域に密着した災害復旧の取組み

自治体等との災害対策訓練 等の実施件数 (2022年度まで目標設定)	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
	—	143件	—	 


重点活動項目：セキュリティの強化



見える化指標 セキュリティ強化に向けた取組み

サイバー攻撃に伴うサービス停止件数	目標	2022年度実績	関連するおもなSDGs
	0件	0件	 



セキュリティ人材数 (SA・Aレベル)	目標	2022年度実績	関連するおもなSDGs
	2025年度 までに 累計750人以上	累計747人	 

見える化指標 セキュリティ意識の醸成



	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
情報セキュリティ研修受講率	全対象者受講	全対象者受講	全対象者受講	

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
重大な個人データ流出ゼロ	0件	0件	0件	 

見える化指標 コンプライアンス遵守に向けた取組み


	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
内部通報に関する研修受講率	全対象者受講	全対象者受講	全対象者受講	 



※2022年度まで見える化指標を「倫理規範研修受講率」としていましたが、2023年度より「内部通報に関する研修受講率」としました。

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
反競争的な違反行為・贈収賄違反件数	0件	1件	0件	 

重点活動項目：人権意識に基づく企業活動

見える化指標 人権の尊重に向けた取組み


	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
人権に関する研修受講率 (2022年度まで目標設定)	全対象者受 講	全対象者受 講	—	

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
確認された人権に関する 違反件数	0件	7件	0件	 

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
重要なサプライヤとの直 接対話実施率	100%	100%	100%	 

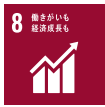

重点活動項目：ダイバーシティ&インクルージョンの推進

見える化指標 女性活躍に向けた取組み

	目標	2022年度実績	関連するおもなSDGs
女性管理者比率	2025年度まで に15%	9.1%	

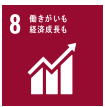

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
女性の新任管理者登用率	30%	30%	30%	

見える化指標 障がい者雇用促進に向けた取り組み


	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標※	関連するおもなSDGs
障がい者雇用率 (翌年6月1日時点)	2.43%以上	2.83%	2.30%以上 (法定雇用率)	 

※今後法定雇用率の引き上げがあるため、2023年度目標から見直し

見える化指標 外部人材の採用

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
外部人材採用数	100人	113人	125人	 

見える化指標 男性育休取得

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
男性育休取得率 (2023年度新目標)	—	—	100%以上	

重点活動項目：デジタル人材育成



見える化指標 デジタルデータ活用・強化に向けた取り組み

	2022年度目標 (累計)	2022年度実績 (累計)	目標 (累計)	関連するおもなSDGs
デジタル人材	SA認定：40 認定 A認定：2,00 0認定	SA認定：56 認定 A認定：4,03 2認定	(2025年度 末まで) SA認定：40 0認定 A認定：8,00 0認定	 

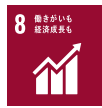
※SA認定…データサイエンティスト協会のスキルレベル定義におけるAssociate Data Scientistレベル
A認定…データサイエンティスト協会のスキルレベル定義におけるAssistant Data Scientistレベル

重点活動項目：働きがいのある職場の実現

見える化指標 柔軟な働き方の実現

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標 (目安)	関連するおもなSDGs
リモートワーク実施率 (オフィスワーカー)	70%	57%	60%	 


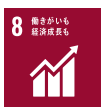
見える化指標 働きがいのある職場の実現

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
社員エンゲージメント率※	対前年度比 増	55% (前年度比+ 2ポイント)	対前年度比 増	

重点活動項目：健康経営の推進



見える化指標 社員の健康維持に向けた取り組み

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
特定保健指導対象者率	16.7%以下	19.3%	14.5%以下	 

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
特定保健指導完了率	49.0%以上	15.9% (速報値)	55.0%以上	 

重点活動項目：安全労働の推進

見える化指標 労働災害の根絶

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標	関連するおもなSDGs
労災事故の発生件数 （社員の労災、設備工事中の事故）	0件	0件※	0件	 

※NTT西日本単体での件数

重点活動項目：社会貢献活動の推進

見える化指標 イベント・ボランティア活動等への参加

	2021年度目標	2022年度実績	目標	関連するおもなSDGs
社会貢献、ボランティア活動等への参加率	対前年度比増	159.8%	対前年度比増	 